

企業局の水源と水道施設

沖縄本島は南北に細長く、北部地域の水源地と中部・南部の消費地が遠く離れていることから、他府県と比べると導送水管などの管路が長いこと、増圧ポンプ場や調整池などの多くの水道施設が設置されています。また、小規模な水源から水を確保するため、河川水や地下水から取水するためのポンプ場が多いのも特徴です。

今後は、沖縄本島周辺離島8村(※)への水道用水供給の拡大を予定しており、各村において、取水施設から送水施設までの水道施設を設置することとしています。

※沖縄本島周辺離島8村とは、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、渡嘉敷村、座間味村、伊平屋村、伊是名村です。
なお、粟国村については平成29年度から、北大東村は令和元年度から用水供給を開始しています。

